



かつら
圭

さん ぱつ
三 発



いちごいちえ
一期一会

これからはこんな時代にしなければ

問 旧安芸郡、旧一志郡の診療所の数はどうなっているのか。

また、高齢者が自動車の免許証を返納したとき、歩いていける診療所がなくなっている。そこで、地域の公民館などの駐車場に移動式の診療所で定期的に巡回してはどうか。



先行事例を参考にしながら研究していく

答 津・久居地域を除く8地域の一般診療所の数は、平成24年の調査時点では83施設となっている。しかし、令和3年11月時点では11施設が減少して72施設となっている。

車による移動診療所については、医療機関までの移動が困難な方に対して、新たな受診機会の一つと捉えている。他市においては、既に取り組んでいるところもあるが、実施主体をはじめ、事例によって様々な違いがある。それぞれの地域の実情やニーズを踏まえて、目的や効果に合わせた形で運営されていると考えているので、先行事例を参考にしながら研究していく。

●その他の質疑・質問●

- コロナ禍におけるスクールカウンセラーについて
- 顧問弁護士の調査と告訴について
- 図書館の休館日について



▲津図書館の様子



いわ
岩

わき
脇

けい
圭

いち
一



いっしんかい
一津会

大門・丸之内の未来ビジョンの策定状況は

問 国土交通省の「官民連携まちなか再生推進事業」の採択を受け、大門・丸之内地区の「未来ビジョン」策定のための調査を行っているが、進捗状況は。

今後、多様な団体・事業者等によるエリアプラットフォームを構築することのだが、どのような工程・流れを描いているか。また、何年先を想定しているか。調査から見えてきた具体的なイメージなどはあるか。

令和4年度中の策定を目指していく

答 現在、都市計画の視点から大門・丸之内地区の市街地構造の変遷を踏まえ、地区の特性や課題の分析作業を行っている。

今後、津駅や津なぎさまち周辺等の拠点間の比較分析等を行い、当該地区の新たなまちづくりの方向性の検討資料として取りまとめていく。また、未来ビジョン策定委員会を設置し、令和4年度中の策定を目指す。

未来ビジョンの実現については、エリアプラットフォームの先行的な取り組みにより、その実現性とまちの姿の変貌を確認しつつ、行政にしかできない取り組みについては、次期津市都市マスタープランに位置付け、都市計画の変更につなげていく。

●その他の質疑・質問●

- 議案第79号津市犯罪被害者等支援条例の制定について
- 食育の推進について
 - 国や県の食育推進計画の改訂をどのように捉えているか
- 保育現場におけるICT化の推進について
 - 保育の質向上に向け、どのように活用するか
 - 現場の声を反映し、職員の負担軽減を など



▲出店者自らが店舗改装を行うセルフリノベーション